



**平成21年3月期
中間決算説明会**

TOKATSU

株式会社東葛ホールディングス

JASDAQ 2754

2008年12月15日

(株) ホンダカーズ東葛

<http://www.hondacars-tokatsu.jp/>



① 北小金店
〒270-0013
松戸市小金きよしヶ丘3-21-1
047-345-1151



② 柏16号店
〒277-0005
柏市柏1308-13
04-7164-8811



③ 五香店
〒270-2218
松戸市五香西1-12-16
047-386-6141



④ 千葉ニュータウン西店
〒270-1436
白井市七次台3-18-3
047-491-8800



⑤ 鎌ヶ谷店
〒273-0105
鎌ヶ谷市鎌ヶ谷9-7-70
047-441-7555



⑥ 南柏店
〒277-0855
柏市南柏2-9-2
04-7143-4151



⑦ 流山店
〒270-0176
流山市加5-1727
04-7150-1011



⑧ 松戸東店
〒270-2224
松戸市大橋394-15
047-361-5011



⑨ 我孫子6号店
〒270-1168
我孫子市根戸993-20
04-7181-8855

(株) ティーエスシー

<http://www.tsc-auto.co.jp/>



⑩ オートテラス松戸
〒270-0027
松戸市ニツ木531
047-343-4107



⑪ オートテラス我孫子
〒270-1168
我孫子市根戸993-2
04-7181-8220



⑫ 千葉流山インター店
〒270-0175
流山市三輪野山2-1-33
04-7178-6333

(株) 東葛プランニング

<http://www.ikpg.co.jp/>



⑬ LifeSalon 松戸西口店
〒271-0091
松戸市本町12-17 秋本ビル1F
047-330-3800



⑭ LifeSalon 柏南口店
〒277-0852
柏市旭町1-6-1 サザンテナ柏1F
04-7140-2400



⑮ LifeSalon 新松戸店
〒270-0034
松戸市新松戸3-18-3 トモイビル1F
047-330-5400

Contents

■企業紹介

■国内自動車販売の現状

■平成21年3月期中間決算について

■平成21年3月期事業戦略及び業績予想



東葛ホールディングス

■ 企業紹介

企業概要

- **社名** : 株式会社東葛ホールディングス
- **設立** : 昭和44年1月
- **資本金** : 210.3百万円
- **従業員数** : 147人（連結）
- **事業内容** : 自動車販売関連事業を中心とした4つの柱
 - ① 新車販売
 - ② 中古車販売
 - ③ サービス（点検整備等）
 - ④ その他（自動車ローン、自動車保険、生命保険等）
- **連結子会社** : 株式会社ホンダカーズ東葛
株式会社ティーエスシー
株式会社東葛プランニング

（平成20年9月末現在）



■ 国内新車販売の現状

販売台数の現状

■平成20年4月～20年9月の国内新車販売台数

単位:台

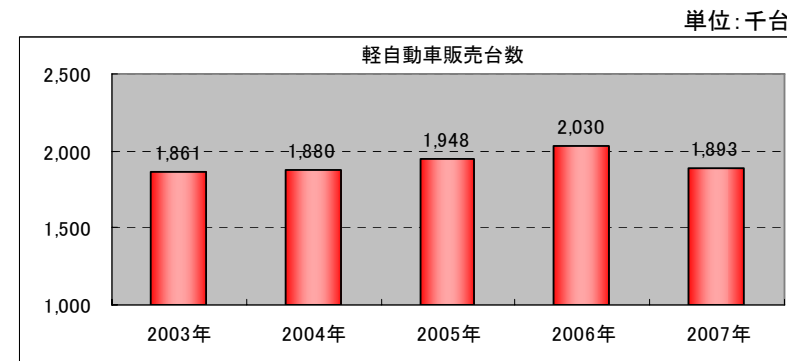
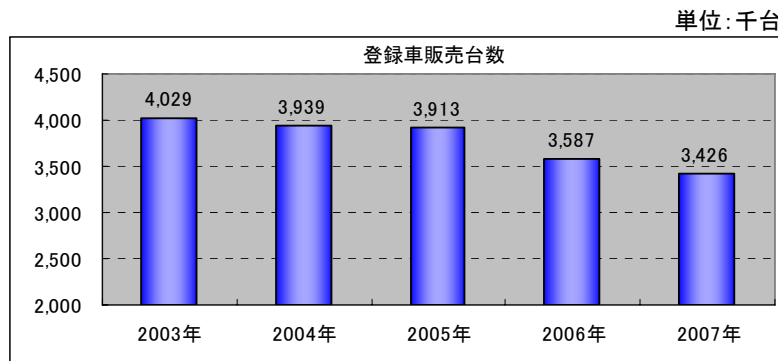
	平成19年4月 ～平成19年9月	平成20年4月 ～平成20年9月	対前年比
四輪総合計	2,484,666	2,417,783	97.3%
登録車	1,588,363	1,543,091	97.1%
届出車	896,303	874,692	97.6%
Honda合計	289,628	290,899	100.4%
登録車	179,371	201,982	112.6%
届出車	110,257	88,917	80.6%
当社合計	991	956	96.5%
登録車	828	836	100.9%
届出車	163	120	73.6%

日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会より

ご注意: この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

販売台数の減少要因

- 登録車は2003年から5年連続対前年実績割れ
- 軽自動車も遂に対前年実績割れ・・・



減少要因

- 自動車運転者の減少、高齢化の進展
- これまでの最大のターゲットである若者の車離れ
- 性能向上による代替サイクルの長期化（平均8.6年）
- 燃料費の高騰など、維持費の拡大による家計への圧迫

ご注意：この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

■ 平成21年3月期中間決算について

平成21年3月期中間決算 ハイライト（連結）

単位：百万円

	平成20年3月期 中間期実績	平成21年3月期 中間期実績	前年 同期比	平成20年3月期 実績
売上高	3,002	2,814	93.7%	6,237
経常利益	152	55	36.2%	313
当期純利益	69	29	42.0%	162
純資産額（千円）	2,267	2,341	—	2,360
総資産額（千円）	6,603	6,435	—	6,925
1株当り 純資産額（円）	469.63	484.87	—	488.84
1株当り四半期 （当期）純利益金額	14.47	6.03	—	33.68
自己資本比率（%）	34.3	36.4	—	34.1
期末配当予想（円）	10.00	10.00	—	10.00

ご注意：この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

平成21年3月期中間決算 貸借対照表（連結）

単位：千円

	平成20年3月期 中間期	平成21年3月期 中間期
資産の部		
流動資産	3,794,108	3,536,516
固定資産	2,809,156	2,872,722
繰延資産	-	25,898
資産合計	6,603,264	6,435,137
負債の部		
流動負債	3,667,220	3,383,225
固定負債	668,072	710,332
負債合計	4,335,292	4,093,557
純資産の部		
株主資本	2,267,971	2,341,580
負債・純資産合計	6,603,264	6,435,137

ご注意：この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

平成21年3月期中間決算 損益計算書（連結）

単位：千円

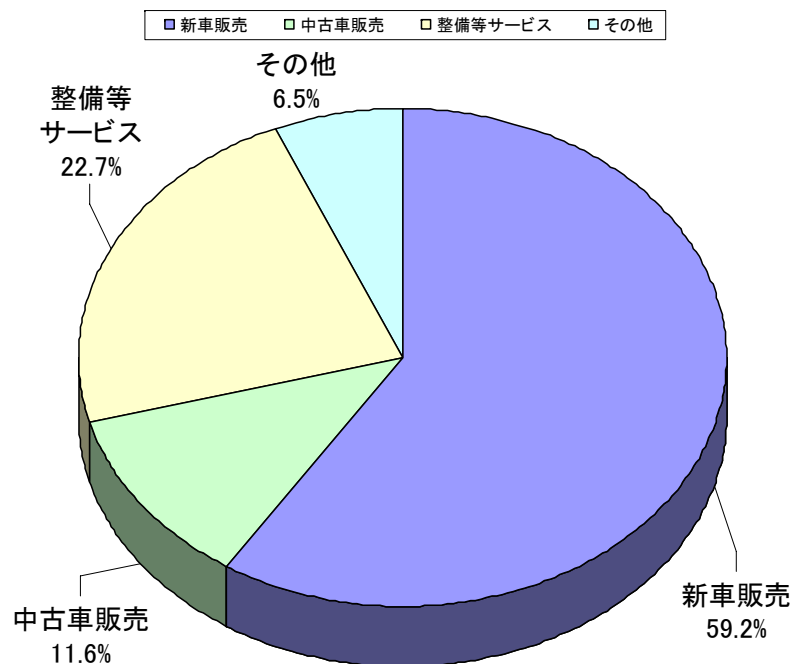
	平成20年3月期 中間期実績	平成21年3月期 中間期実績
売上高	3,002,951	2,814,982
売上原価	2,301,789	2,146,750
売上総利益	701,161	668,232
販売費及び一般管理費	559,288	594,193
営業利益	141,873	74,038
営業外収益	35,200	3,778
営業外費用	24,868	22,004
経常利益	152,206	55,812
特別損失	17,945	-
税金等調整前四半期純利益	134,260	55,812
法人税等	64,371	26,685
純利益	69,889	29,127

ご注意：この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

平成21年3月期中間決算

部門別業績

《部門別売上高(連結)》



	売上高（単位：百万円）			
	平成20年3月期 中間期実績	平成21年3月期 中間期実績	構成比	前年 同期比
新車販売	1,807	1,667	59.2%	92.3%
中古車販売	354	326	11.6%	92.1%
整備等 サービス	647	638	22.7%	98.8%
その他	194	181	6.5%	93.7%
合計	3,002	2,814	100.0 %	93.7%

ご注意：この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

部門別要因分析（１）

<新車部門>

- 昨年フルモデルチェンジのフィット、5月発売のフリードは堅調な販売で推移いたしましたが、オデッセイ、ステップワゴン等の主力車種がモデル自体の末期を迎えていること、また、ガソリン価格の高騰などによる消費者の小型車志向と相俟って販売台数を伸ばせず、売上高は前期を下回る結果となりました。



部門別要因分析（２）

<中古車部門>

- 7月にオープンしました千葉流山インター店の寄与もあり販売台数は前期に比べ、6.9%増の806台を確保しましたが、新車と同じく小型車志向は強く、台当たり単価の下落傾向が続いており売上高は前期を下回っております。



部門別要因分析（3）

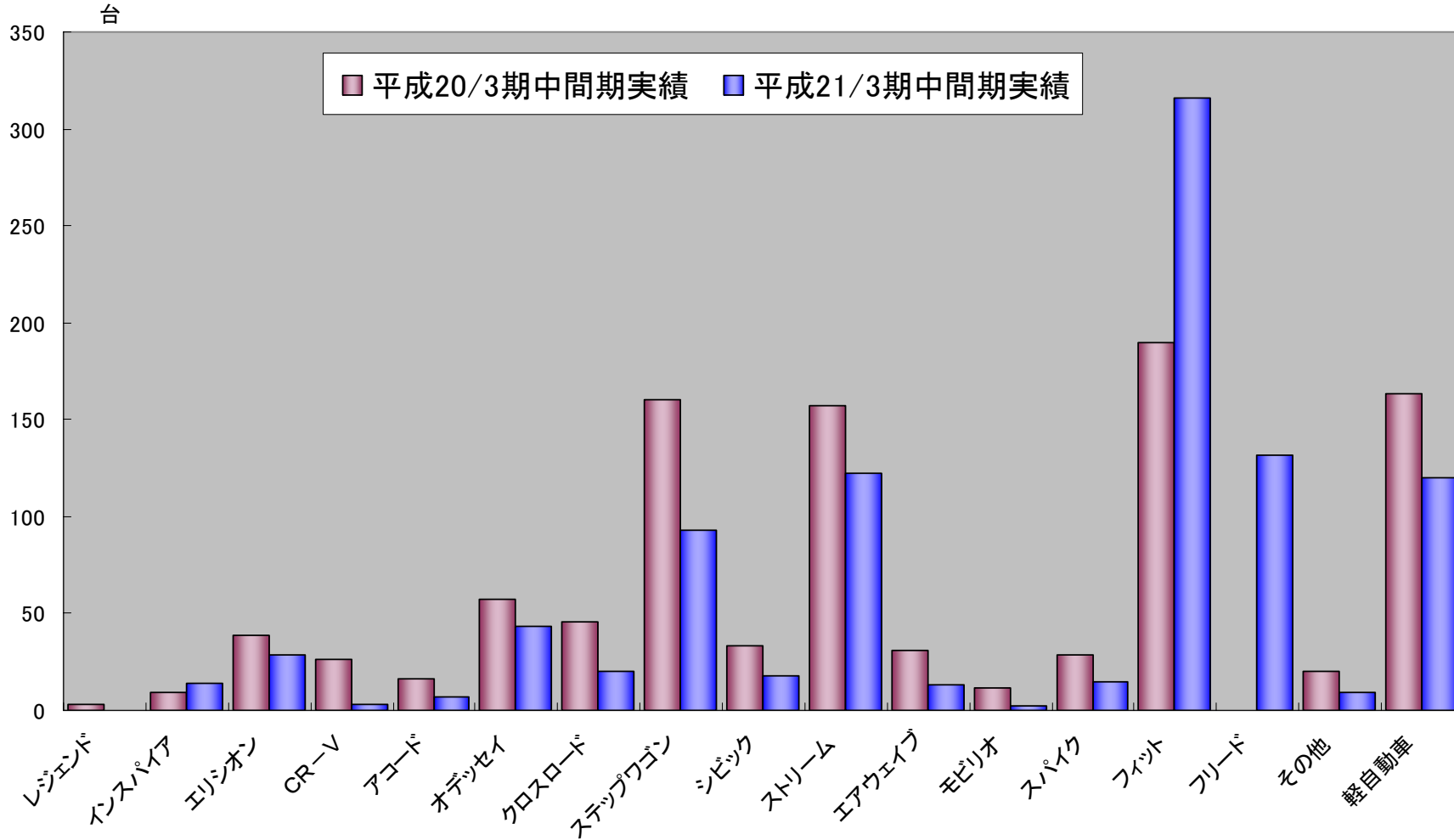
<サービス部門>

- 08年度は、車検到来台数が少なく、当初より苦戦が予想されましたので、管理ユーザーに対するきめ細かいアプローチにより、車検・点検の台数確保に努めましたが、車検台数は2,914台、前年比で58台の減少となりました。

<その他部門>

- 登録受取手数料やローン手数料は販売台数、台当たり単価に連動しているため大きく減少いたしました。
また、保険手数料も保険料自体の下落傾向と若年層の車離れによる保険加入者構造の変化により減少となりました。

平成21年3月期中間決算 車種別新車登録台数



ご注意：この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。



東葛ホールディングス

■ 平成21年3月期事業戦略および業績予想

事業戦略<新車部門>

- 新車販売は、本田技研工業株式会社の新車を販売
- (株)ホンダカーズ東葛として9店舗の新車拠点を運営

<取扱車種>

レジェンド、アコード、アコードワゴン、S2000、CR-V、インスパイア、エリシオン、エディックス、オデッセイ、ステップワゴン、ストリーム、フィット、フィットアリア、モビリオ、モビリオスパイク、エアウェイブ、パートナーシビック、シビックハイブリッド、クロスロード、ライフ、バモス、バモスホビオ、ゼスト、アクティ、アクティトラック

- 好調に推移するフィット・フリードを軸とし、10月以降発売となるオデッセイ・ライフ・アコードシリーズを既納客中心に取組み、台数拡販と単価拡大に努める
- 来春発売予定の新型ハイブリッド<インサイト>は一定の反響が見込めるため、事前の情宣活動に注力する



事業戦略<新車部門>

ODYSSEY



2008年10月16日フルモデルチェンジし発売

事業戦略<新車部門>



Life

**Life
PASTEL**



**Life
DIVA**



2008年11月6日フルモデルチェンジし発売

ご注意：この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

事業戦略<新車部門>

2008年12月4日フルモデルチェンジし発売



Accord

Accord Tourer



事業戦略<新車部門>

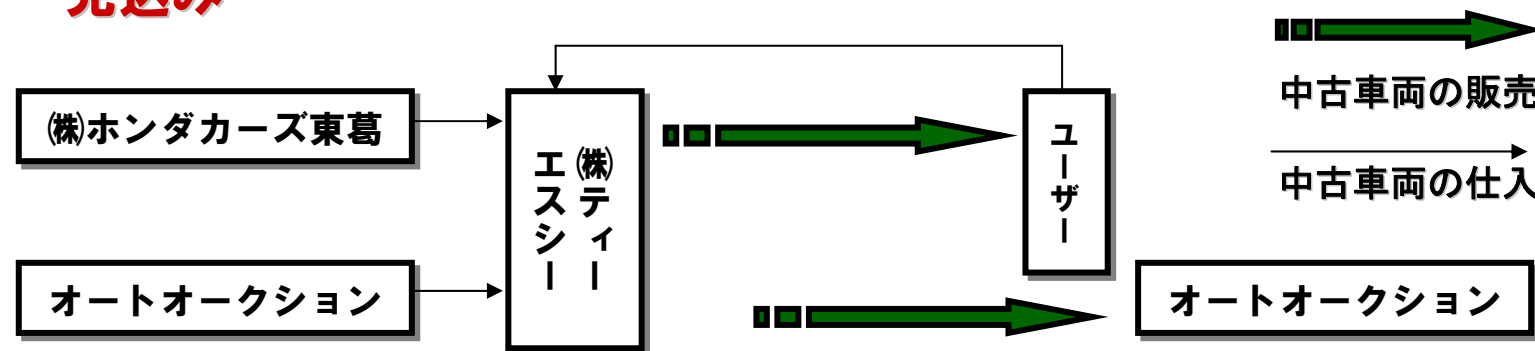


2009年春発売予定

ご注意：この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

事業戦略<中古車部門 -1>

- (株) ティーエスシーとして中古車拠点3店舗を運営
- 3店舗にサービス工場を併設し、お客様へのビフォー・アフターサービスを充実させ、顧客満足度の向上を図る
- HP上の中古車情報のタイムリーな改廃等による情報発信に努め集客率のアップを図る
- **ホンダ車以外の販売を行う第3の店舗、千葉流山インター店が2008年7月オープン。月を追うごとに、認知度が向上し台数も着実に増加、下期への貢献度、全体台数の増大に寄与見込み**



事業戦略<中古車部門 -2>

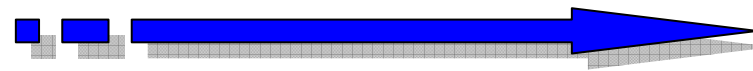
<これまでの新車販売時の下取車の流れ>

- ・現状、新車販売時の下取車は半数がHonda車で、半数がHonda車以外である。

Honda車は既存店であるAT松戸・我孫子店にて販売



(直 販)



⇒ 業販は薄利にて流出しているのが現状
利益創出源泉の喪失



他メーカー車はオートオークション等へ

(業 販)



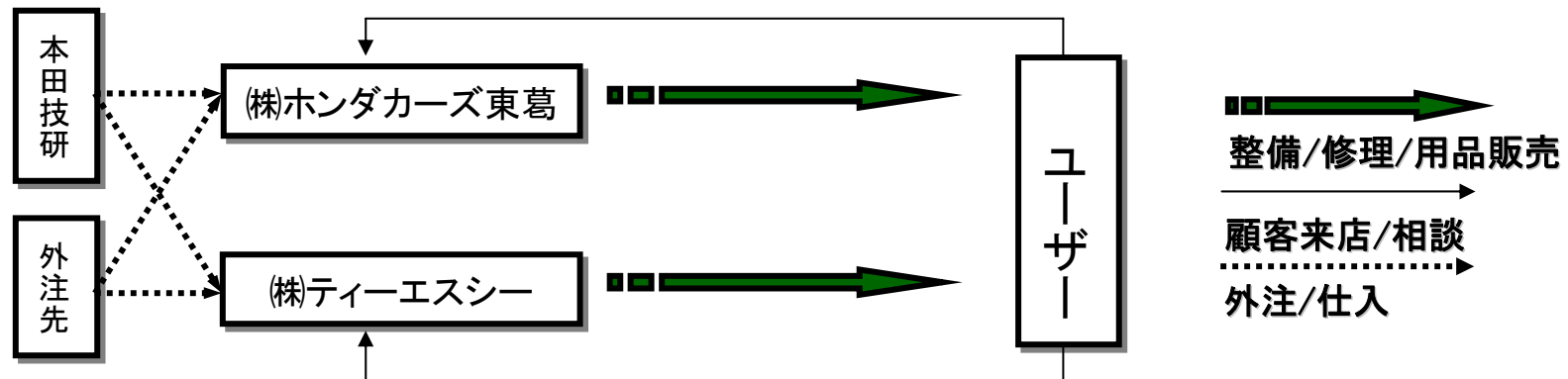
事業戦略<中古車部門 - 3 >

<7月以降の新車販売時の下取車の流れ>



事業戦略<サービス部門>

- ホンダカーズ9拠点・ティーエスシー3拠点の全店にサービス工場を設置
- 2店舗の指定工場を取得、効率化の促進
- 09年2月～3月に大量の車検満期が集中。営業・サービス一体となった顧客取り込み活動を展開し、在庫率の向上に注力する

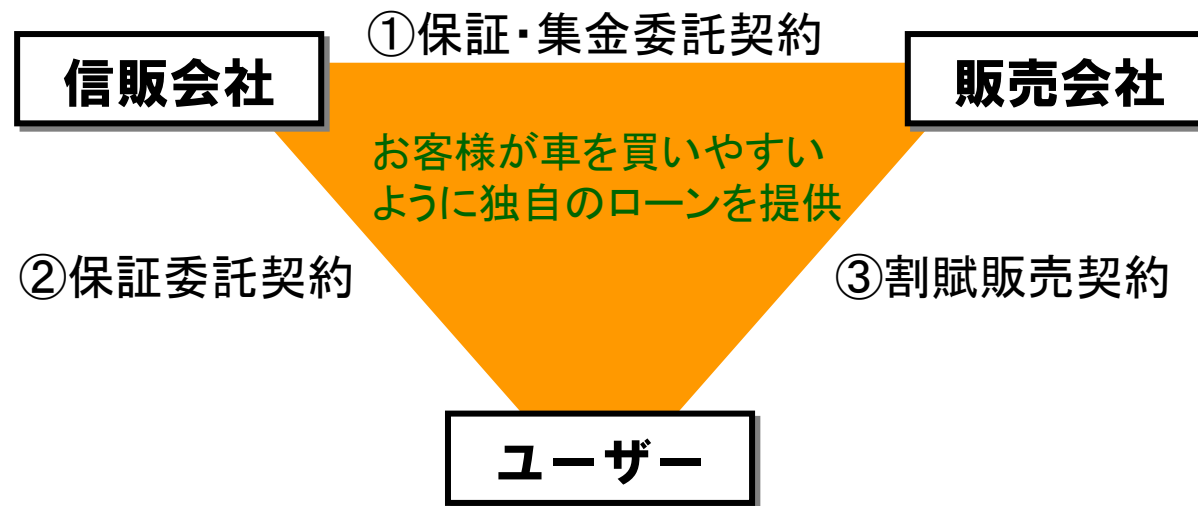


事業戦略<その他部門・ローン>

当社グループの中に、「信販会社」があるイメージ

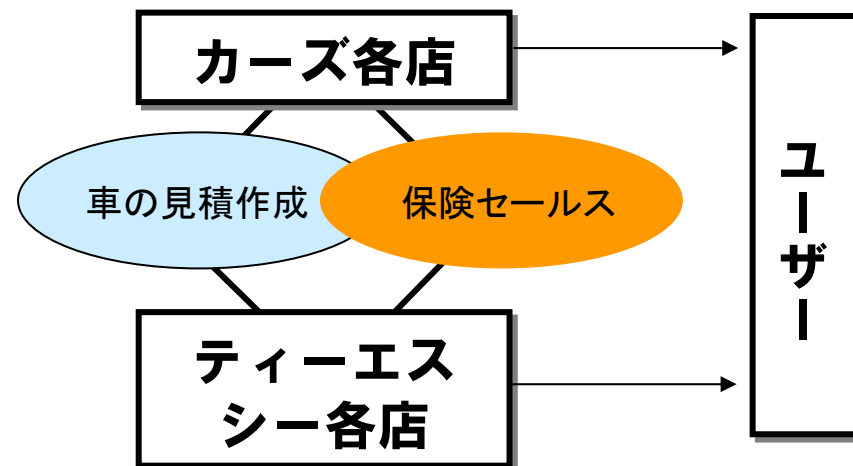
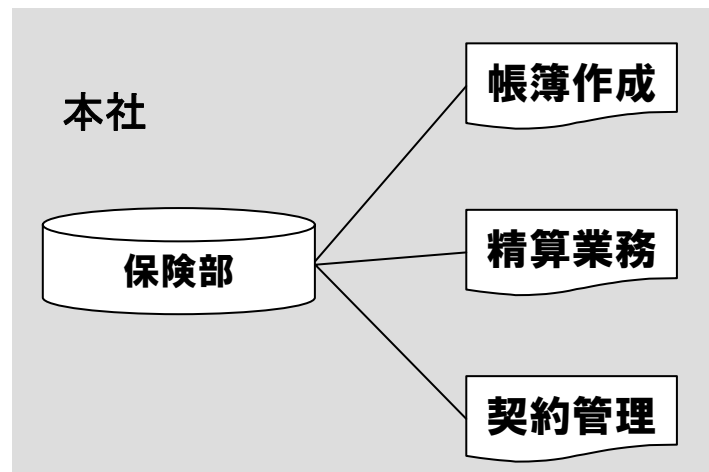
- 主力商品：自動車ローン「ホンダ東葛オリジナルローン」
（ローン手数料収入）の徹底推進

一般の自動車ローンが「立替払い方式」を多く採用しているのに対し、
当社では「集金保証方式」を採用し、収益の安定確保につなげています。



事業戦略<その他部門・損害保険>

- カーズ・ティーエスシーの2代理店を設置、それぞれの顧客にきめ細かい管理対応を実現
- 2代理店ともあいおい損害保険株式会社の保険代理店の最上級種別である「特級」の認定を受ける
- 受注車両に対する、新規契約奪取の提案活動を徹底し、新規付保率の向上を図る
- 継続率をアップさせるため、2ヶ月前の満期案内、1ヶ月前の継続完了を基本動作とする



事業戦略<その他部門・生命保険>

- 4月1日付けで新設分割により株式会社東葛プランニングを設立
- 来店型総合保険ショップ<ライフ・サロン>の展開
- 松戸西口・柏南口・新松戸の3店舗が稼動、認知度も向上し契約数も増加中であり、早期に収益の柱としての確立を目指す

ライフサロン松戸西口店



ライフサロン柏南口店



ライフサロン新松戸店



平成21年3月期業績予想（連結）

単位：百万円

	20年3月期 通期（実績）	21年3月期 通期（予想）	増減率
売上高	6,237	6,100	△2.2%
経常利益	313	172	△45.0%
当期純利益	162	102	△37.0%

ご注意：この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

I R連絡先

お問い合わせ先

- 本件に関するお問合せ先
- 株式会社東葛ホールディングス IR担当
- 本社：千葉県松戸市小金きよしヶ丘3-21-1
- 電話番号：047-346-1190
- ファックス：047-345-1159
- ホームページ：<http://www.tkhd.co.jp>